

データに基づく長野支部の 課題・施策について

令和 7年 10月 28日

(1) 令和8年度支部事業計画・KPI・支部保険者機能強化予算の策定について

支部の事業計画、予算等の策定にあたっては、本部・支部間の連携を強化することになり、戦略的保険者機能の更なる強化を図るため、「現状評価・課題・重点施策シート」の作成（課題の抽出）から始まるスケジュールとなっています。

具体的には本部からの提供データ等を活用し、支部の現状評価・課題を踏まえた支部事業計画・予算を策定していきます。

令和8年度支部事業計画等の策定に係る本年度下期の主な対応は次のとおり。

① 「現状評価・課題・重点施策シート」の提出（提出期限：10月31日）

現状評価に係るデータ等を元に、支部ごとに地域の課題を抽出、対応方針等を検討・整理し、「現状評価・課題・重点施策シート」を作成し、本部へ提出する。

② 支部長ヒアリングの実施（実施期間：11月下旬～12月上旬）

支部の現状認識や課題解決に向けた重点施策について、本部・支部が認識を共有し、協力して課題解決に取り組むため、支部長ヒアリングが実施される。

ヒアリングでは、「現状評価・課題・重点施策シート」を元に、役員等へ支部の課題や事業運営等に関する支部長の見解を示し、支部の課題認識やそれを踏まえた対応方針等について意見交換を行う。

③ 支部事業計画・KPI・支部保険者機能強化予算の策定（提出期限：12月下旬）

11月上旬に、協会全体の事業計画案、支部KPI設定基準、支部保険者機能強化予算の支部別予算枠が本部から示されるため、支部においては、評議会の意見や「現状評価・課題・重点施策シート」等に基づき、支部事業計画等の案を作成し、本部へ提出する。提出後、本部が支部に対し、支部保険者機能強化予算等に関する事前ヒアリングを実施する。

① 血圧リスクの課題

令和8年度課題・重点施策シート

(2) 血圧リスクの課題

血圧リスクの課題

健診結果 : 「血圧リスクの保有率」がほかのリスク保有率と比べて高い。
2022年～2024年で0.6%ポイント増加している。

医療費情報 : 循環器系の疾患（血圧系）は入院・入院外ともに全国平均を下回っている。

→循環器系の疾患の中で医療費の高い「**高血圧疾患**」に着目して分析。

- ・「高血圧性疾患」の医療費全体に占める割合は全国平均よりも長野支部のほうが高い。
- ・「高血圧性疾患」の医療費は全国平均よりも低いものの、その差は年々縮小している。

被保険者/被扶養者・年齢別

- ・40代から50代にかけて**血圧リスク保有率**が急増する傾向にあり、その後も加齢とともに上がっていく。
- ・40代からのすべての年代において**運動習慣改善要素保有者**の割合が高い。

地域別

- ・木曾、大北、北信、上小、松本地域で、**血圧リスク保有率**が全国平均を上回っている。
- ・血圧リスクが高い**北信地域**において、喫煙率、運動習慣改善要素保有者、飲酒習慣あり、睡眠不足において割合が高い。
- ・血圧リスクが高い**上小地域**において、喫煙率が高い。

業態別

- ・血圧リスクが高い「**運輸業、郵便業**」において、喫煙率、運動習慣改善要素保有者、飲酒習慣あり、睡眠不足において割合が高い。
- ・血圧リスクが高い「**鉱業、採石業、砂利採取業**」「**建設業**」において、喫煙率、飲酒習慣ありの割合が高い。
- ・「**製造業**」においては、運動習慣改善要素保有者、睡眠不足の割合が高い。

長野支部健診情報 (2024年)

血圧リスク

- ・地域差指数-1※がほかのリスクに比べて高い傾向にある
- ・2022～2024年で**0.6%**増加している

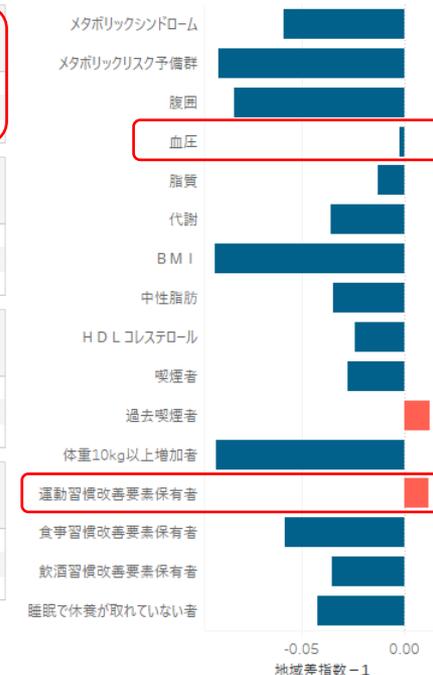
3-1. 健診受診率等

統計年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診受診率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勤続後3か月以内受診率	コロナヘルス宣言事業所数
2022	57.7%	15.0%	31.7%	28.1%	16.1%	1,065
2023	59.7%	12.2%	31.0%	30.2%	16.4%	1,217
2024	60.5%	12.1%	33.5%	24.8%	8.4%	1,449

3-2. 健診結果及び問診結果

統計年度	メタボリックシンドロームのリスク保有率	メタボリックシンドロームのリスク保有率 地域差指数-1	メタボリックリスク予備群の割合	メタボリックリスク予備群の割合 地域差指数-1	腹囲のリスク保有率	腹囲のリスク保有率 地域差指数-1	血圧のリスク保有率	血圧のリスク保有率 地域差指数-1
2022	14.5%	-0.079	11.5%	-0.090	31.8%	-0.093	45.8%	-0.005
2023	14.7%	-0.072	11.6%	-0.083	32.1%	-0.087	46.1%	-0.002
2024	15.1%	-0.059	11.7%	-0.091	32.7%	-0.083	46.4%	-0.002

健診結果及び問診結果の地域差指数 - 1



統計年度	脂質のリスク保有率	脂質のリスク保有率 地域差指数-1	代謝のリスク保有率	代謝のリスク保有率 地域差指数-1	BMIのリスク保有率	BMIのリスク保有率 地域差指数-1	中性脂肪のリスク保有率	中性脂肪のリスク保有率 地域差指数-1
2022	28.3%	-0.012	14.5%	-0.076	28.0%	-0.099	18.5%	-0.031
2023	28.5%	-0.011	14.6%	-0.065	28.3%	-0.095	18.4%	-0.026
2024	28.5%	-0.013	15.0%	-0.036	29.0%	-0.092	17.9%	-0.035

統計年度	HDLコレステロールのリスク保有率	HDLコレステロールのリスク保有率 地域差指数-1	喫煙者の割合	喫煙者の割合 地域差指数-1	過去喫煙者の割合	過去喫煙者の割合 地域差指数-1	体重10kg以上増加者の割合	体重10kg以上増加者の割合 地域差指数-1
2022	4.0%	-0.018	26.8%	-0.033	0.0%	0.000	37.1%	-0.093
2023	3.9%	-0.039	27.1%	-0.025	0.0%	0.000	37.5%	-0.092
2024	3.9%	-0.024	26.7%	-0.027	16.6%	0.013	38.4%	-0.092

統計年度	運動習慣改善要素保有者の割合	運動習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	食事習慣改善要素保有者の割合	食事習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	飲酒習慣改善要素保有者の割合	飲酒習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	睡眠で休養が取れていない者の割合	睡眠で休養が取れていない者の割合 地域差指数-1
2022	68.2%	0.004	49.4%	-0.053	11.1%	-0.085	35.9%	-0.037
2023	67.4%	0.006	50.0%	-0.051	11.4%	-0.077	37.1%	-0.036
2024	66.6%	0.012	49.8%	-0.058	13.3%	-0.035	37.5%	-0.042

※ 現在、2024年度以降の飲酒習慣改善要素保有者の割合、飲酒習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1は判定方法が未確定のため、集計対象としていません。判定方法が確定次第、集計対象となります。

※**血圧リスクの定義**：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり

※**地域差指数**：地域間の年齢構成の違いをなくして、地域ごとの実質的な違いを指数化したもの（全国平均=1）

例) 血圧リスク保有率の地域差指数-1

プラス数値：全国平均よりも血圧リスクが高い

マイナス数値：全国平均よりも血圧リスクが低い

長野支部医療費情報 (2024年)

疾病別医療費 上位3疾病※歯科以外

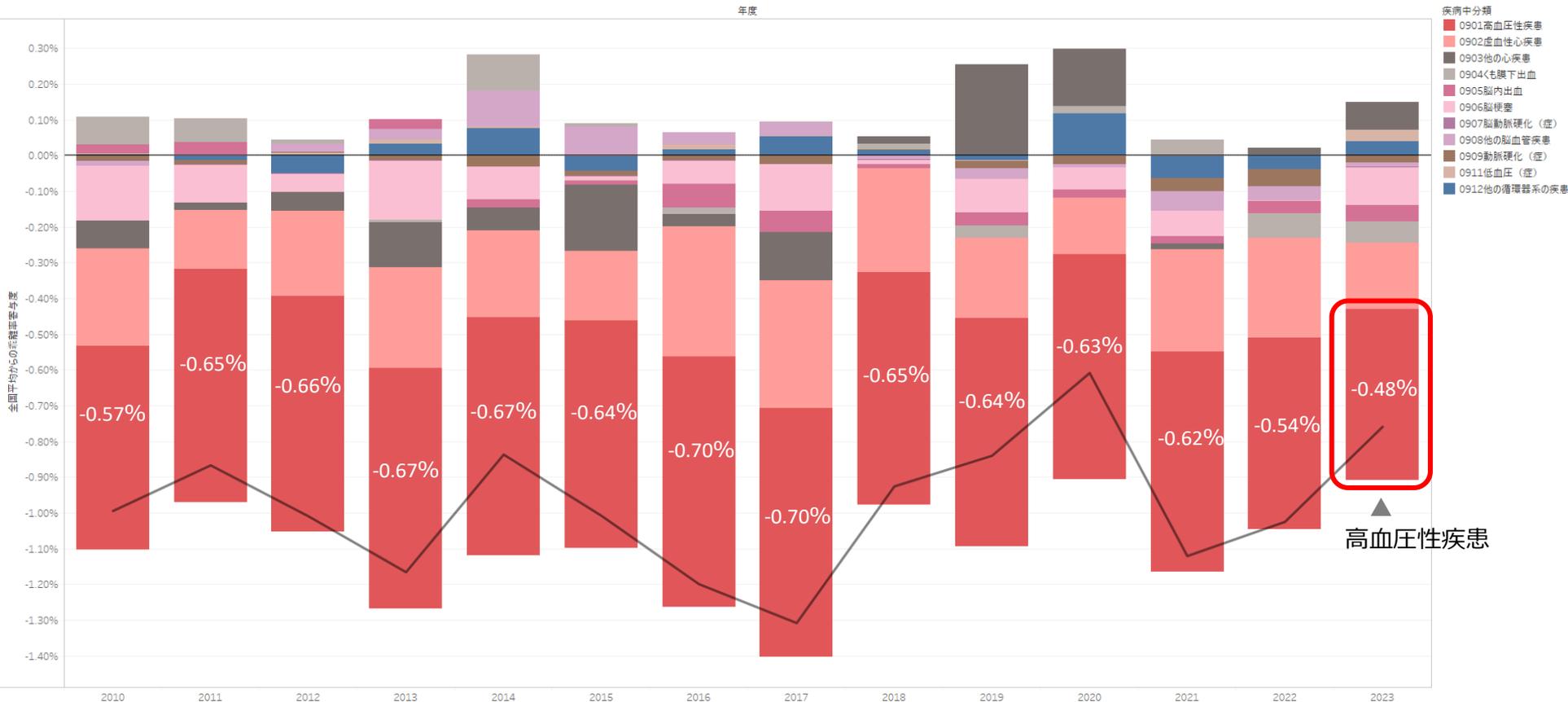
長野の疾病別医療費 (令和6年度)	入院	入院外	総計	1人当たり医療費			医療費全体に 占める割合
				入院	入院外	総計	
高血圧性疾患	85,976,290	5,082,696,298	5,168,672,588	138	8,184	8,322	4.20%
その他の悪性新生物<腫瘍>	2,463,904,100	2,239,090,647	4,702,994,747	3,967	3,605	7,572	3.82%
糖尿病	282,661,100	4,383,113,205	4,665,774,305	455	7,057	7,512	3.79%
総計(上記以外もすべて)	34,228,302,490	75,407,907,300	123,209,786,480	55,111	121,413	198,379	

全国の疾病別医療費 (令和6年度)	入院	入院外	総計	1人当たり医療費			医療費全体に 占める割合
				入院	入院外	総計	
高血圧性疾患	5,269,934,990	339,733,437,327	345,003,372,317	133	8,566	8,699	4.16%
糖尿病	21,177,939,660	298,070,996,395	319,248,936,055	534	7,515	8,049	3.85%
その他の悪性新生物<腫瘍>	160,867,369,510	137,366,068,963	298,233,438,473	4,056	3,463	7,519	3.60%
総計(上記以外もすべて)	2,252,035,041,150	5,097,950,802,677	8,287,615,147,490	56,781	128,537	208,959	

- 長野支部・全国ともに最も医療費が高いのは「高血圧性疾患」
- 「高血圧性疾患」の医療費全体に占める割合は全国平均よりも長野支部のほうが高い。

年齢調整後1人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度（～2023年）

循環器系疾患の医療費（長野支部）



- 「0901高血圧性疾患」（赤）は全国平均と比較して医療費は低いものの、全国平均との差が縮小している。
- 「09循環器系の疾患」全体（折れ線グラフ）でも、全国平均との差が縮小している。

被保険者・被扶養者別 血圧リスク保有率（2024年）

		40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
長野	被保険者	34.4%	51.3%	66.1%	77.3%
	被扶養者	19.1%	36.7%	54.3%	69.9%
全国	被保険者	34.2%	51.1%	66.7%	77.4%
	被扶養者	19.5%	37.9%	56.0%	72.5%

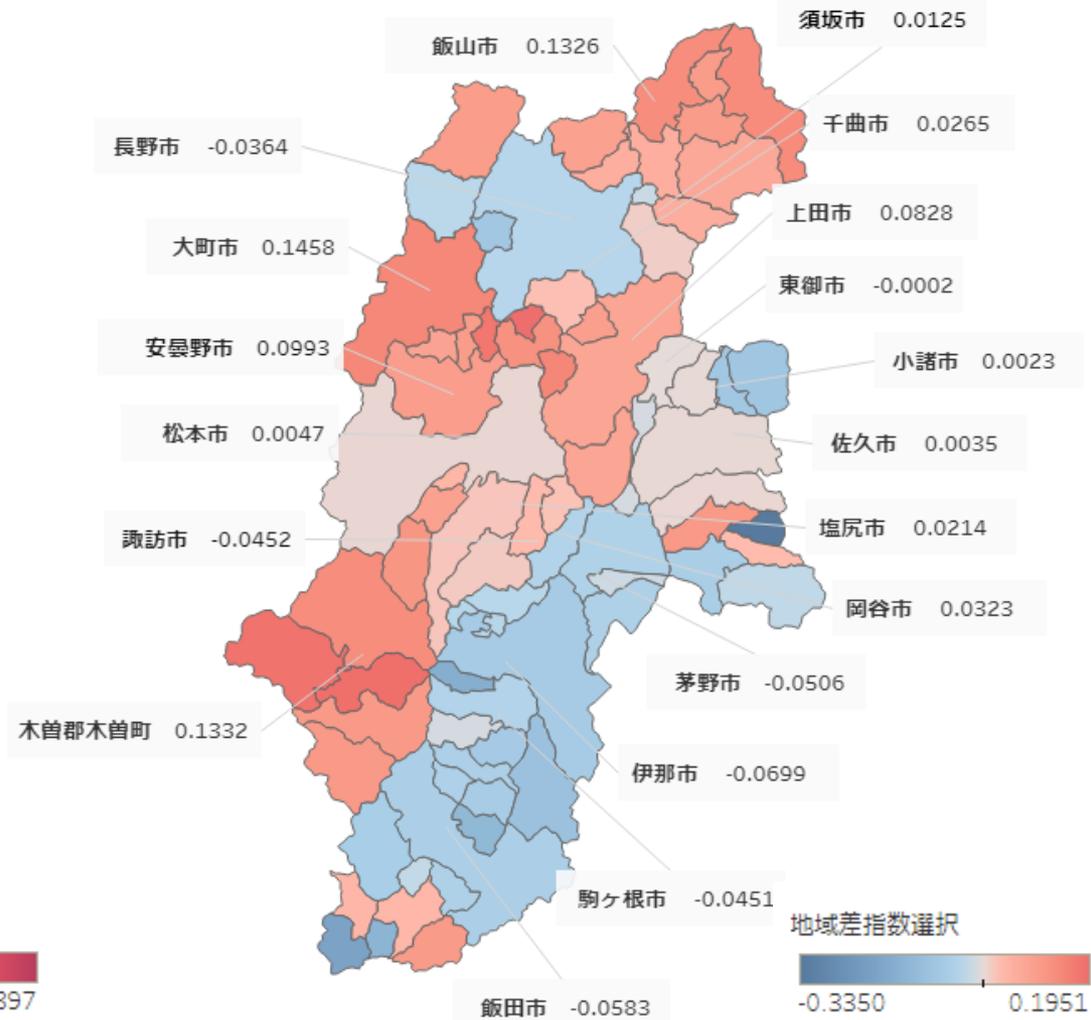
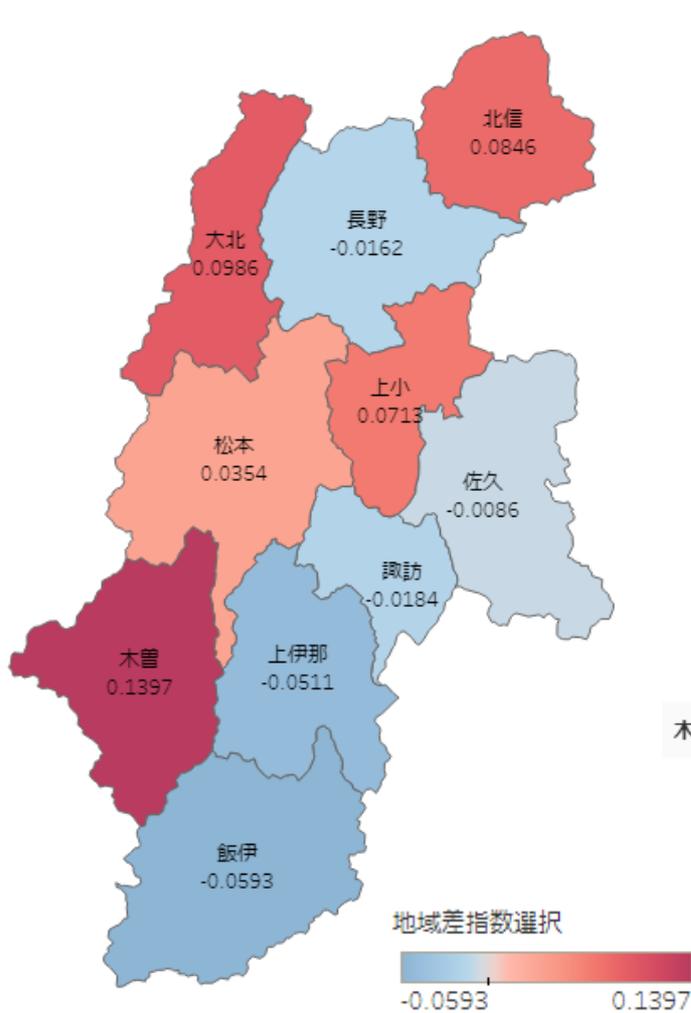
被保険者 血圧リスク保有率と質問票項目の回答状況（2024年）

	長野				全国			
	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
血圧リスク	34.4%	51.3%	66.1%	77.3%	34.2%	51.1%	66.7%	77.4%
喫煙率	31.3%	29.7%	23.5%	17.6%	31.5%	30.4%	25.9%	19.8%
運動習慣改善要素保有者	78.4%	78.2%	76.6%	71.6%	76.9%	76.4%	74.2%	68.5%
飲酒習慣あり	17.1%	21.3%	23.4%	26.2%	17.6%	22.2%	25.8%	27.1%
睡眠不足	37.8%	40.9%	37.4%	30.5%	39.5%	42.3%	38.8%	31.2%

- **40代から50代**にかけて血圧リスク保有率が急増する傾向にあり、その後も加齢とともに上がっていく。
- 40代からのすべての年代において運動習慣改善要素保有者の割合が高い。

長野支部地域別 血圧リスク保有率の地域差指数-1 (2024年)

■ 木曾、大北、北信、上小、松本地域で全国平均を上回っている。



長野支部地域別 血圧リスク保有率と質問票項目の回答状況（2024年）

	血圧リスク 保有率	喫煙率	運動習慣改善 要素保有者	飲酒習慣あり	睡眠不足
佐久	49.8%	28.6%	77.7%	20.1%	36.4%
松本	51.2%	26.4%	75.3%	20.3%	37.5%
上伊那	47.4%	26.1%	77.3%	18.6%	37.0%
上小	52.7%	27.8%	77.6%	20.6%	37.4%
諏訪	48.6%	27.6%	78.5%	16.7%	38.6%
大北	55.5%	24.9%	76.0%	21.3%	34.9%
長野	48.8%	25.6%	77.9%	19.6%	37.0%
飯伊	47.0%	24.7%	76.6%	18.8%	39.5%
北信	54.0%	27.7%	80.0%	22.7%	38.1%
木曽	59.5%	25.5%	78.6%	23.5%	36.0%

- 血圧リスクが高い**北信地域**において、喫煙率、運動習慣改善要素保有者、飲酒習慣あり、睡眠不足、すべての項目において割合が高い。
- 血圧リスクが高い**上小地域**において、喫煙率が高い。

長野支部業態別 血圧リスク保有率と質問票項目の回答状況（2024年） ※被保険者のみで集計

	血圧リスク 保有率	喫煙率	運動習慣改善 要素保有者	飲酒習慣あり	睡眠不足
農林水産業	47.0%	26.4%	72.3%	22.0%	35.8%
鉱業、採石業、砂利採取業	61.0%	43.8%	76.2%	34.8%	35.2%
建設業	56.9%	38.6%	75.6%	31.4%	32.1%
製造業	50.9%	29.2%	79.0%	19.7%	40.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	50.2%	30.3%	74.7%	22.2%	33.2%
情報通信業	47.7%	23.3%	77.4%	17.3%	36.9%
運輸業、郵便業	61.3%	43.4%	77.9%	26.1%	39.9%
卸売・小売業	49.8%	28.2%	78.1%	21.7%	38.5%
金融・保険業	45.3%	22.0%	73.1%	22.7%	36.2%
不動産業、物品賃貸業	45.3%	22.9%	72.9%	21.1%	34.6%
学術研究、専門・技術サービス業	47.2%	19.7%	73.7%	19.1%	33.4%
飲食店・宿泊業	47.7%	28.6%	77.5%	21.7%	42.2%
生活関連サービス業、娯楽業	48.3%	32.4%	74.5%	22.1%	36.8%
教育・学習支援業	42.7%	15.4%	76.0%	16.0%	35.1%
医療・福祉	42.7%	15.4%	79.5%	11.3%	41.3%
複合サービス業	49.5%	22.2%	80.2%	16.8%	35.7%
サービス業	51.9%	29.9%	75.9%	20.1%	37.8%
公務	43.0%	13.4%	72.5%	20.4%	40.1%

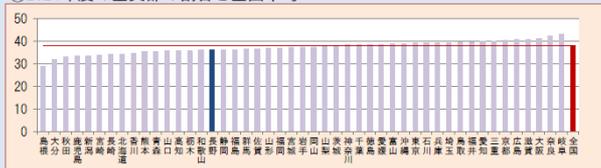
- 血圧リスクが高い「**運輸業、郵便業**」において、喫煙率、運動習慣改善要素保有者、飲酒習慣あり、睡眠不足、すべての項目において割合が高い。
- 血圧リスクが高い「**鉱業、採石業、砂利採取業**」「**建設業**」において、喫煙率、飲酒習慣ありの割合が高い。「**製造業**」においては、運動習慣改善要素保有者、睡眠不足の割合が高い。

長野支部のスコアリングレポート（2024）より

割合が増加しているのは睡眠

指標6【睡眠で休養が取れていない者の割合】

①2024年度の全支部の割合と全国平均



②2021年度から2024年度の自支部の割合と全国順位及び全国平均

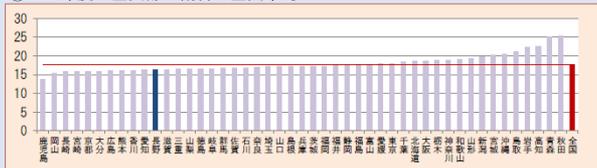


(データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整割合)

指標5【飲酒習慣（週5日以上+2合以上など）要改善者[※]の割合】

※「週5日以上+2合以上」は「週5日以上+2合以上」を飲む頻度、「飲酒日の1日当たりの飲酒量」は「飲酒日1日当たりの飲酒量」又は「週5日以上+2合以上」又は「週5日以上+2合以上」と同等した者の割合。個々の詳細データはP.27を参照してください。

①2024年度の全支部の割合と全国平均



②2021年度から2024年度の自支部の割合と全国順位及び全国平均

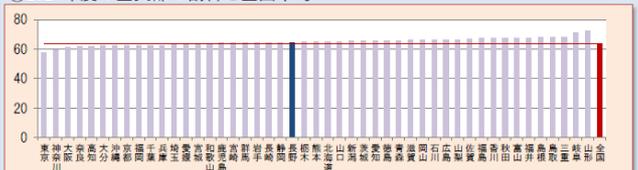


(データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整割合)
↑2023年度以前は同じ基準で集計できないため空欄。

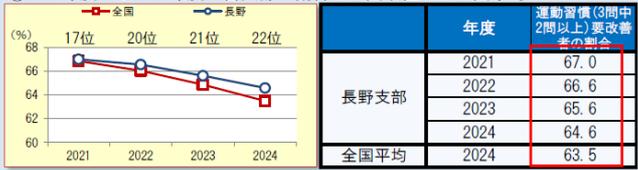
指標3【運動習慣（3回中2回以上）要改善者[※]の割合】

※「1回30分以上の軽〜ปาน重運動を2回以上1年以上実施している」「日常生活において歩行又は階段の身体活動量1日10,000歩以上実施」「昼寝なし運動の割合と比較して歩く速度が速い」の3回中2回以上「はい」と回答した者の割合。個々の詳細データはP.25を参照してください。

①2024年度の全支部の割合と全国平均



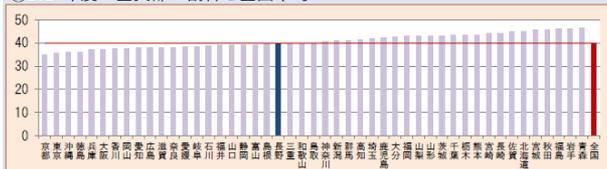
②2021年度から2024年度の自支部の割合と全国順位及び全国平均



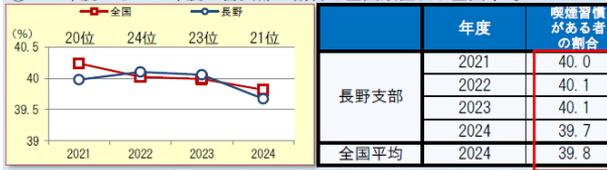
(データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整割合)

指標1【喫煙習慣がある者の割合】

①2024年度の全支部の割合と全国平均



②2021年度から2024年度の自支部の割合と全国順位及び全国平均



(データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整割合)

◆長野支部では睡眠で休養が取れていない者の割合が増加傾向である。

施策

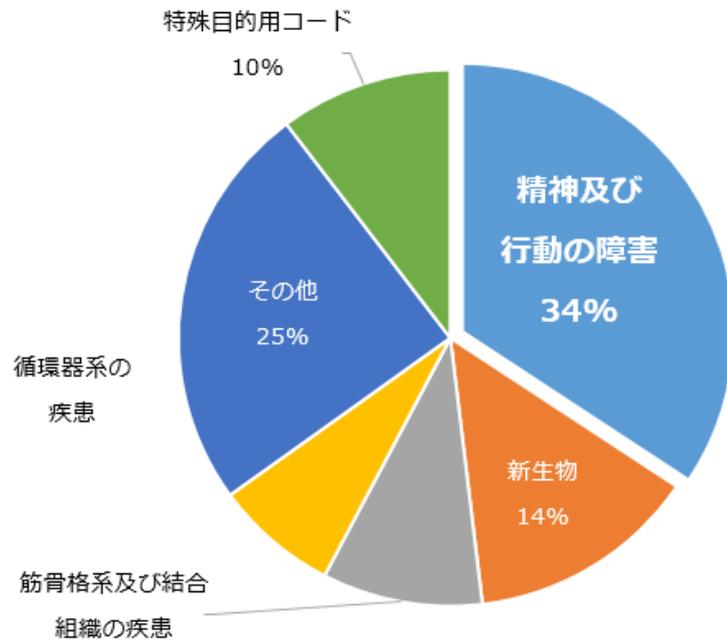
- **令和6年度に実施した40～59歳の血圧リスク保有または予備軍への啓発文書送付事業について、データ検証結果をもとに手法を工夫して対応する。**
- **「睡眠」の切り口から長野県や長野産業保健総合支援センター、長野労働局と連携して睡眠改善セミナーや広報等の実施を検討する。**
- **運輸業、建設業に対する特定保健指導の強化**
大規模事業所への幹部訪問等により実施受け入れの理解を得る
業界団体を通じた事業所へのアプローチを行う
- **上小、松本、北信地域において血圧対策の取組**
県と連携して作成したチラシを利用した啓発を継続実施する
- **検証方法**
運輸業、建設業の特定保健指導実施率について前年度実績との比較により、効果を検証する
運輸業、建設業の血圧リスク保有率地域差指数の変化を確認する

②精神および行動の障害 の課題

令和8年度課題・重点施策シート

- 傷病手当金の給付件数のうち、「精神および行動の障害」の割合は**全体の34%**を占めている。（令和5年10月データ）
- 「精神および行動の障害」の件数が占める割合は2020年～2023年で**約5.5%増加**している（各年10月のデータ）

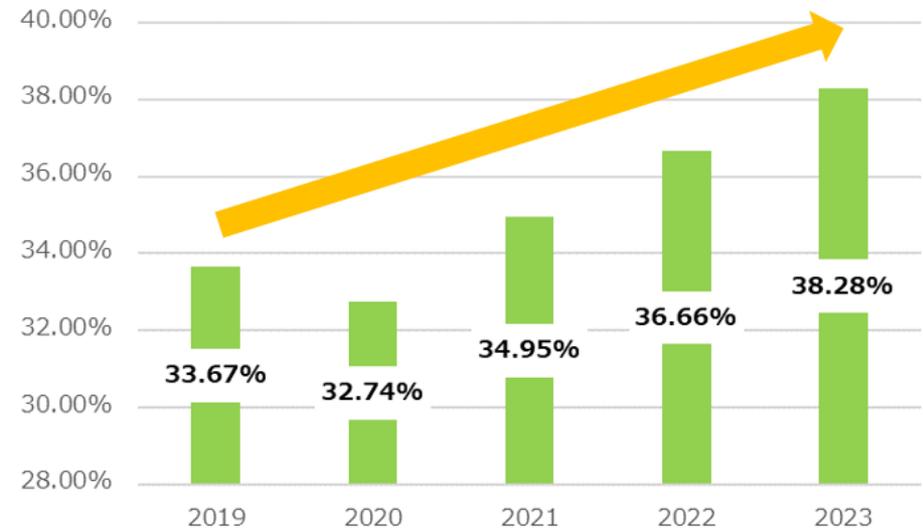
傷病手当金 支給件数の構成割合（令和5年10月）



出典：令和5年度 全国健康保険協会 現金給付受給者状況調査報告を加工引用
 ※令和5年10月の傷病手当金受給者全員を調査対象としている。（法第3条第2項被保険者は除く）
 ※調査対象件数は、全国：169,957件 長野：2,388件（月報の実績件数とは異なるが、集計時点の差によるもの）
 ※社会保険表章用疾病分類表によるものである。
 ※特殊目的用コードには、新型コロナウイルス感染症を含む。

傷病手当金請求件数のうち、「精神および行動の障害」が占める割合

※新型コロナウイルスによる請求件数を除く



出典：令和元年～5年度 全国健康保険協会 現金給付受給者状況調査報告を加工引用
 ※各年10月の傷病手当金受給者全員を調査対象としている。（法第3条第2項被保険者は除く）
 ※調査対象件数は、各年の月報の実績件数とは異なるが、集計時点の差によるものである。
 ※社会保険表章用疾病分類表によるものである。

表示支部
自支部のみ

入院

統計年度 2024 支部 すべて

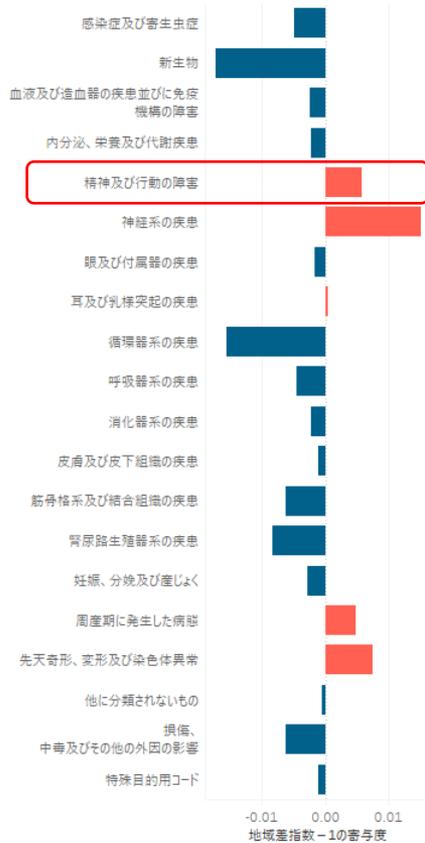
入院/入院外選択
入院

2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度（入院）

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度

統計年度	感染症及び寄生虫症（入院）	新生物（入院）	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害（入院）	内分泌、栄養及び代謝疾患（入院）	精神及び行動の障害（入院）	神経系の疾患（入院）	眼及び付属器の疾患（入院）	耳及び乳突突起の疾患（入院）	循環器系の疾患（入院）	呼吸器系の疾患（入院）
2022	-0.004	-0.020	-0.001	0.000	0.004	0.010	-0.002	0.000	-0.012	-0.003
2023	-0.002	-0.014	-0.001	-0.001	0.004	0.013	-0.002	0.001	-0.006	-0.004
2024	-0.005	-0.017	-0.002	-0.002	0.006	0.015	-0.002	0.000	-0.015	-0.004

統計年度	消化器系の疾患（入院）	皮膚及び皮下組織の疾患（入院）	筋骨格系及び結合組織の疾患（入院）	腎尿路生殖器系の疾患（入院）	妊娠、分娩及び産後（入院）	周産期に発生した病態（入院）	先天奇形、変形及び染色体異常（入院）	他に分類されないもの（入院）	損傷、中毒及びその他の外因の影響（入院）	特殊目的用コード（入院）
2022	-0.003	-0.002	-0.004	-0.009	-0.001	-0.003	0.006	0.000	-0.006	-0.008
2023	-0.004	-0.001	0.001	-0.007	-0.002	0.005	0.008	0.000	-0.005	-0.002
2024	-0.002	-0.001	-0.006	-0.008	-0.003	0.005	0.007	0.000	-0.006	-0.001



精神および行動の障害

- ・ 入院・入院外ともに、1人当たり医療費が全国平均を上回る

※ 調剤に係る医療費については、処方元である入院外・歯科に含めています。

※地域差指数-1への寄与度：地域差指数-1に与える影響度合い。

例) 1人当たり医療費の地域差指数-1への寄与度
 寄与度がマイナスに高ければ、全国平均と比較したときの長野支部の1人当たり医療費を下げる方向に大きく働き、寄与度がプラスに高ければ、全国平均と比較したときの長野支部の1人当たり医療費を上げる方向に大きく働く。

支部基本情報 医療費情報②

表示支部
自支部のみ

入院外

統計年度 2024 支部 すべて

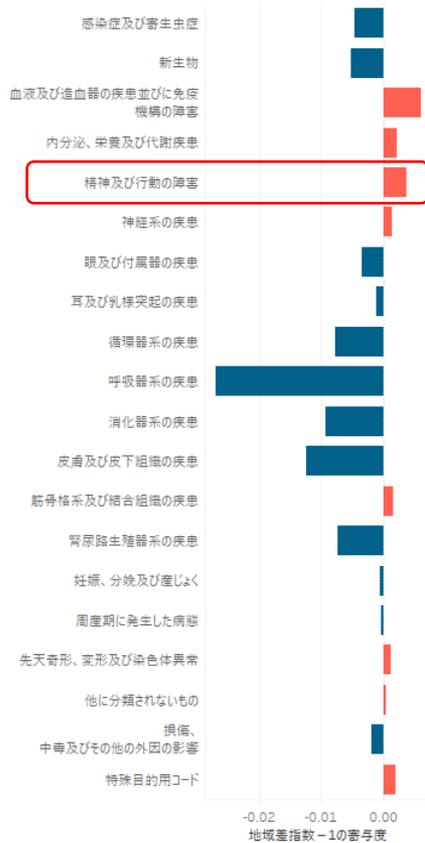
入院/入院外選択
入院外

2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度 (入院外)

統計年度	感染症及び寄生虫症 (入院外)	新生物 (入院外)	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (入院外)	内分泌、栄養及び代謝疾患 (入院外)	精神及び行動の障害 (入院外)	神経系の疾患 (入院外)	眼及び付属器の疾患 (入院外)	耳及び乳突突起の疾患 (入院外)	循環器系の疾患 (入院外)	呼吸器系の疾患 (入院外)
2022	-0.004	0.000	0.009	-0.001	0.005	0.003	-0.003	-0.001	-0.009	-0.021
2023	-0.005	-0.004	0.008	-0.001	0.004	0.003	-0.004	-0.001	-0.009	-0.028
2024	-0.005	-0.005	0.006	0.002	0.004	0.001	-0.003	-0.001	-0.008	-0.027

統計年度	消化器系の疾患 (入院外)	皮膚及び皮下組織の疾患 (入院外)	筋骨格系及び結合組織の疾患 (入院外)	腎尿路生殖系の疾患 (入院外)	妊娠、分娩及び産後 (入院外)	周産期に発生した病態 (入院外)	先天奇形、変形及び染色体異常 (入院外)	他に分類されないもの (入院外)	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (入院外)	特殊目的用コード (入院外)
2022	-0.008	-0.012	0.004	-0.008	-0.001	0.000	0.001	0.000	-0.002	-0.001
2023	-0.009	-0.012	0.003	-0.008	-0.001	0.000	0.001	0.000	-0.002	0.001
2024	-0.009	-0.012	0.002	-0.007	-0.001	0.000	0.001	0.001	-0.002	0.002

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度



2-3. 時間外受診率の地域差指数-1

統計年度	初診	再診
2022	-0.285	-0.633
2023	-0.279	-0.627
2024	-0.277	-0.625

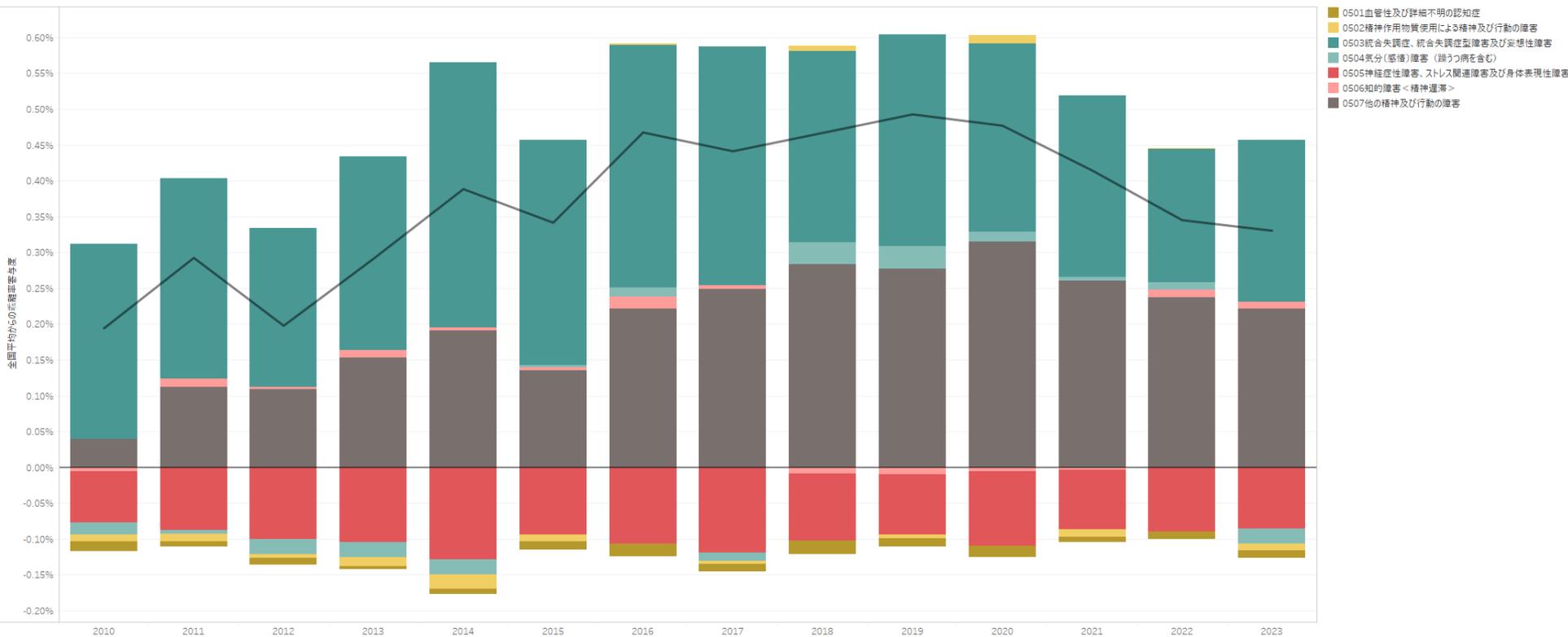
* 調剤に係る医療費については、処方元である入院外・歯科に含めています。

※2023年までのデータ

- 1人当たり医療費については全国平均を上回るが、2020年以降、増加幅は全国平均よりも相対的に少ない傾向にある。
- 気分（感情）障害は2023年度より全国平均を下回る。

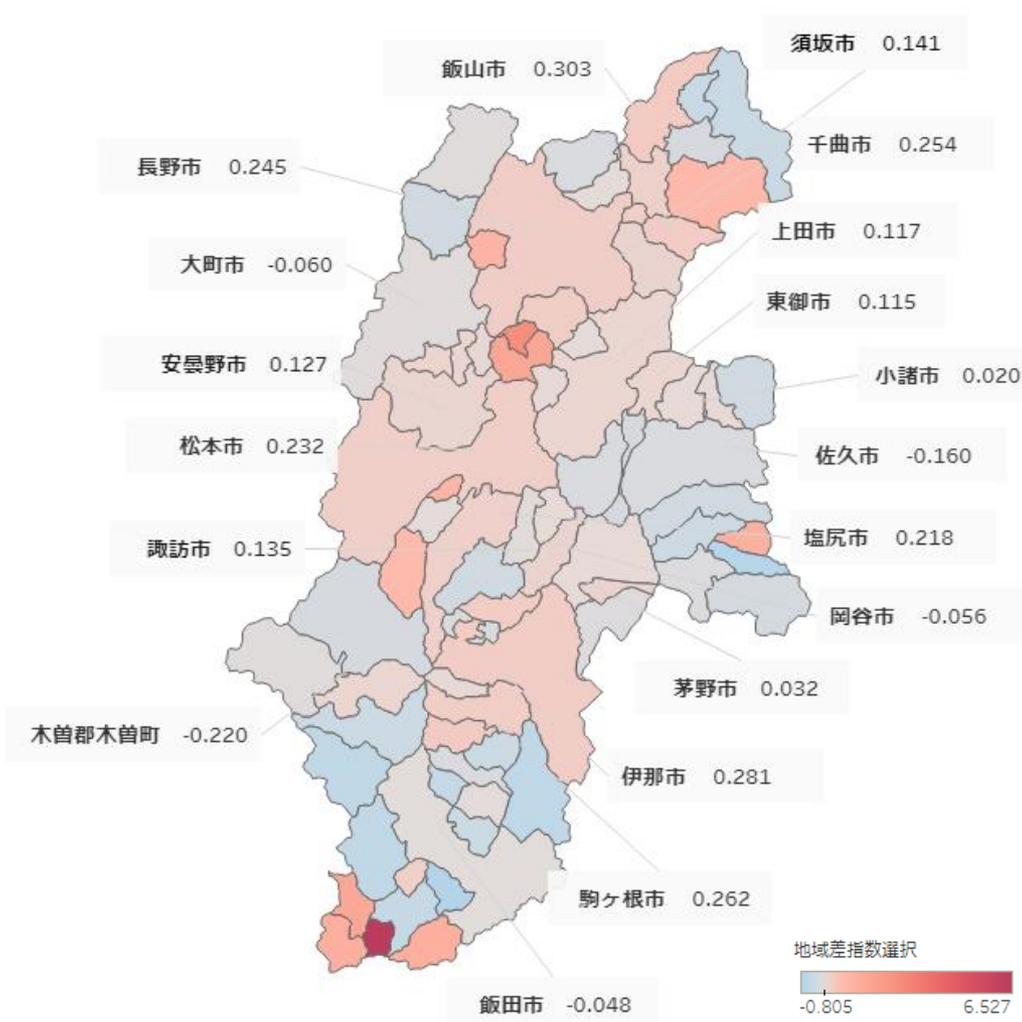
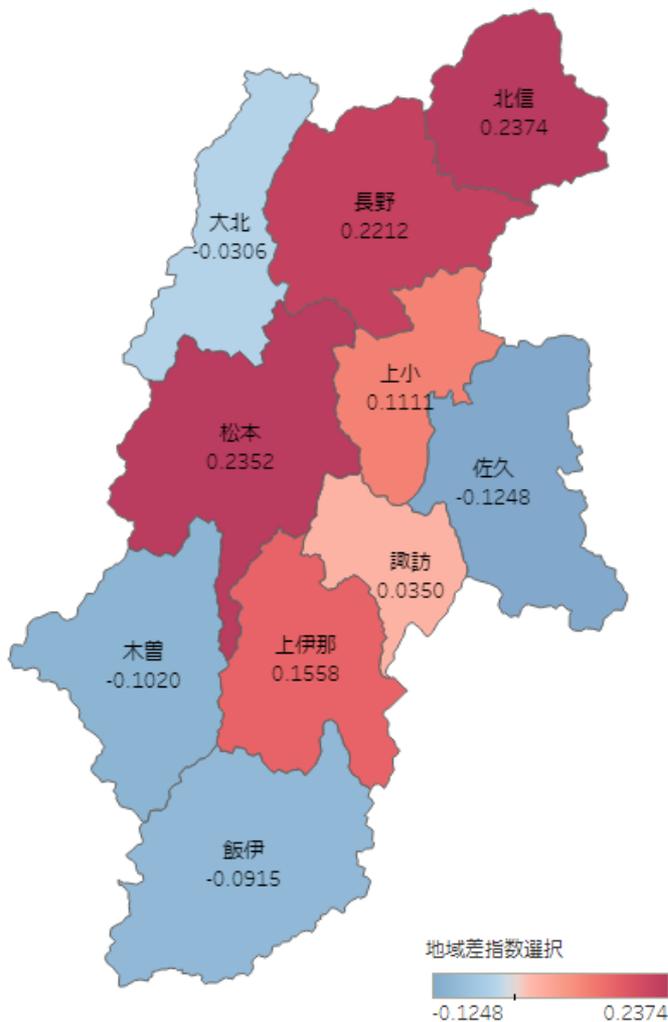
年齢調整後1人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度

精神および行動の障害の医療費（長野支部）



地域別 精神および行動の障害の1人当たり医療費の地域差指数-1 (2024年)

■ 北信・松本・長野・上伊那・上小・諏訪地域で全国平均を上回っている。



業態別 精神および行動の障害の1人当たり医療費の地域差指数-1 (2024年)

支部基本情報 医療費情報③

ユーザ名 : 20002838 閲覧日時 : 2025-10-07 11:23:04

データソース更新日 : 2025-07

表示支部
自支部のみ

入院

統計年度 2024 支部 すべて 入院/入院外選択 入院

2-4.業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度

業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度

統計年度	1農林水産業	2鉱業、採石業、砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連業
2022	0.008	0.003	0.002	-0.005	-0.004	0.012	-0.004	-0.001	0.000	-0.002
2023	0.007	0.002	0.005	-0.007	-0.002	0.011	-0.004	-0.002	-0.001	-0.001
2024	0.008	0.001	0.006	-0.009	-0.002	0.012	-0.004	-0.001	-0.001	-0.001
統計年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20食料品以外の小売業
2022	-0.001	-0.003	0.042	0.001	-0.001	-0.007	-0.016	-0.002	0.001	-0.004
2023	0.001	-0.003	0.044	0.002	-0.001	-0.006	-0.013	-0.008	-0.004	0.000
2024	0.001	-0.006	0.039	0.004	-0.001	-0.005	-0.013	-0.011	-0.005	-0.003
統計年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2022	-0.003	-0.001	-0.003	-0.017	-0.001	-0.001	-0.015	-0.007	0.017	0.000
2023	-0.004	-0.001	-0.002	-0.015	-0.002	-0.001	-0.017	-0.006	0.024	-0.005
2024	-0.001	-0.002	-0.004	-0.015	-0.001	-0.001	-0.019	-0.006	0.023	-0.002
統計年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2022	0.001	-0.003	-0.009	-0.009	-0.006	-0.015	-0.026	-0.001	0.000	0.002
2023	0.000	-0.005	-0.006	-0.009	-0.006	-0.015	-0.024	0.003	0.000	0.003
2024	0.002	-0.004	-0.010	-0.017	-0.005	-0.020	-0.026	0.002	0.002	0.004
統計年度	41その他のサービス業	42公務	43有資格者が法律・会計関係の業務を行う事業							
2022	-0.008	0.002	0.000							
2023	-0.009	0.000	0.000							
2024	-0.008	0.000	0.000							



※1 被保険者のみを集計対象としています。
 ※2 地域差指数は年齢調整後のものとなります。
 ※3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数-1の寄与度の合計は診療種別（入院・入院外）の被保険者1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度と一致しない場合があります。

業態別 精神および行動の障害の1人当たり医療費の地域差指数-1 (2024年)

支部基本情報 医療費情報③

ユーザ名 : 20002838 閲覧日時 : 2025-10-07 11:23:04

データソース更新日 : 2025-07

表示支部
自支部のみ

入院外

統計年度 2024 支部 すべて 入院/入院外選択 入院外

2-4.業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度

業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度

統計年度	1農林水産業	2鉱業、採石業、砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連連業
2022	0.010	0.001	0.007	-0.006	-0.002	0.015	-0.005	-0.001	-0.001	0.001
2023	0.010	0.001	0.006	-0.005	-0.002	0.015	-0.005	-0.001	-0.001	0.000
2024	0.010	0.001	0.008	-0.007	-0.001	0.016	-0.005	-0.001	-0.001	0.000
統計年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2022	0.000	-0.001	0.047	0.003	-0.001	-0.006	-0.008	-0.005	-0.002	-0.003
2023	0.000	0.000	0.049	0.003	-0.001	-0.007	-0.009	-0.008	-0.001	-0.004
2024	0.000	-0.001	0.049	0.003	-0.001	-0.007	-0.009	-0.008	-0.002	-0.006
統計年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2022	0.001	-0.001	-0.003	-0.016	-0.001	-0.002	-0.018	-0.006	0.018	-0.002
2023	0.000	-0.001	-0.003	-0.017	-0.001	-0.001	-0.020	-0.006	0.020	-0.003
2024	0.000	-0.001	-0.003	-0.017	-0.001	-0.001	-0.022	-0.007	0.024	-0.002
統計年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2022	0.000	-0.004	-0.010	-0.007	-0.005	-0.020	-0.020	0.003	0.002	0.002
2023	0.000	-0.004	-0.011	-0.011	-0.006	-0.023	-0.020	0.003	0.002	0.002
2024	0.000	-0.004	-0.010	-0.009	-0.005	-0.025	-0.021	0.003	0.002	0.003
統計年度	41その他のサービス業	42公務	43有資格者が法律・会計関係の業務を行う事業							
2022	-0.009	0.005	0.000							
2023	-0.009	0.000	0.000							
2024	-0.010	0.000	0.000							



※1 被保険者のみを集計対象としています。
 ※2 地域差指数は年齢調整後のものとなります。
 ※3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数-1の寄与度の合計は診療種別（入院・入院外）の被保険者1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度と一致しない場合があります。

業態別 精神および行動の障害の1人当たり医療費の地域差指数-1 (2024年)

日時：2025-10-07 11:23:04

データソース更新日：2025-07

日時：2025-10-07 11:23:04

データソース更新日：2025-07

入院

入院外

入院・入院外ともに、1人当たり医療費が全国平均を上回る業態

業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度



業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度



左図番号	業態
1	農林水産業
2	鉱業・採石業・砂利採取業
3	総合工事業
6	食料品・たばこ製造業
13	機械器具製造業
14	その他の製造業
29	宿泊業
38	修理業
39	廃棄物処理業
40	政治・経済・文化団体

精神および行動の障害

- ・入院・入院外ともに、1人当たり医療費が全国平均を上回る業態の上位3業態「機械器具製造業」「宿泊業」「食料品・たばこ製造業」

施策

・メンタルヘルス対策の強化

メンタルヘルス講習会の案内周知の強化

メンタルヘルスサポート窓口の周知の強化

検証方法

アウトカムの検証は相当困難と思われるため、アウトプットである講習会開催数をもって検証する